

【現況】

| 毎木調査項目 | 施業前 | 施業後 | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 129 | 83 | |
| 平均胸高直径(cm) | 10.8 | 13.9 | |

・間伐の結果、林内が明るくなった。
・腐植層は薄く、表土が露出しているが、地表面の平均傾斜が 9° とほぼ平坦であるため、土壌流出は見られていない。



【所見】

- ・開空度は間伐後の状態が維持されており、植被率も若干増加した。
- ・土砂の移動量は減少し、緩傾斜地でもあるので表土浸食の形跡は見当たらない。
- ・植被率の回復が緩慢であるため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.2



NO.3

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.4



NO.5

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.2



NO.3

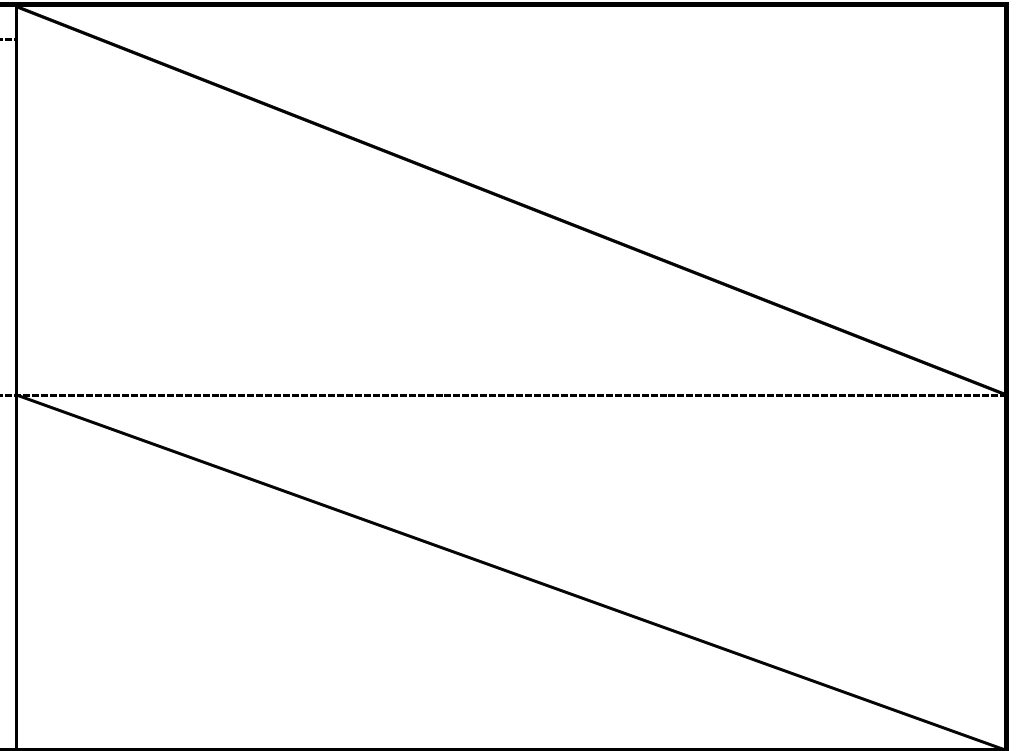
4
年
後
(
H
2
9
)



NO.4



NO.5





【施業前1】



【施業後1】

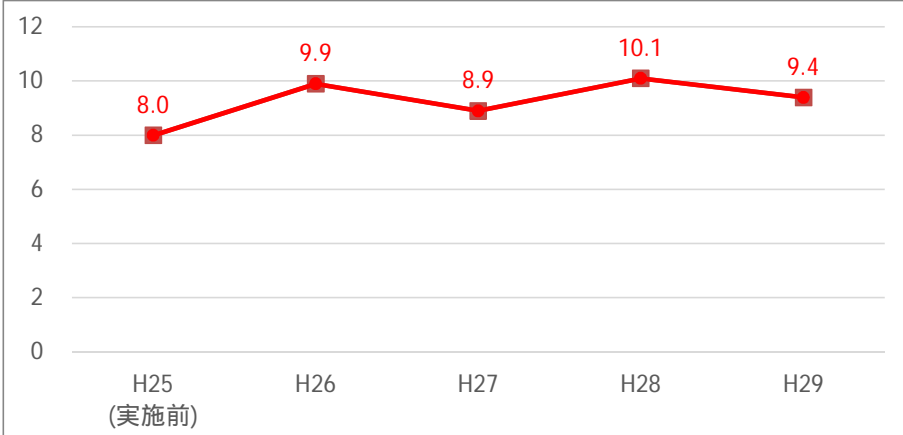


【施業前2】

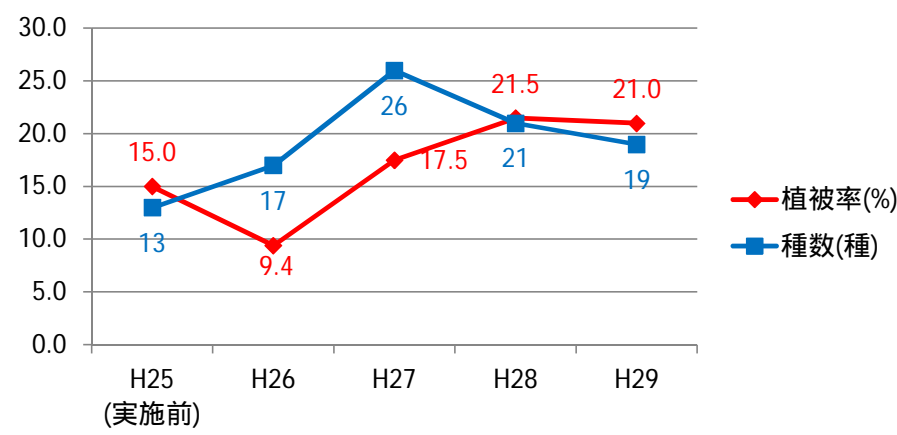


【施業後2】

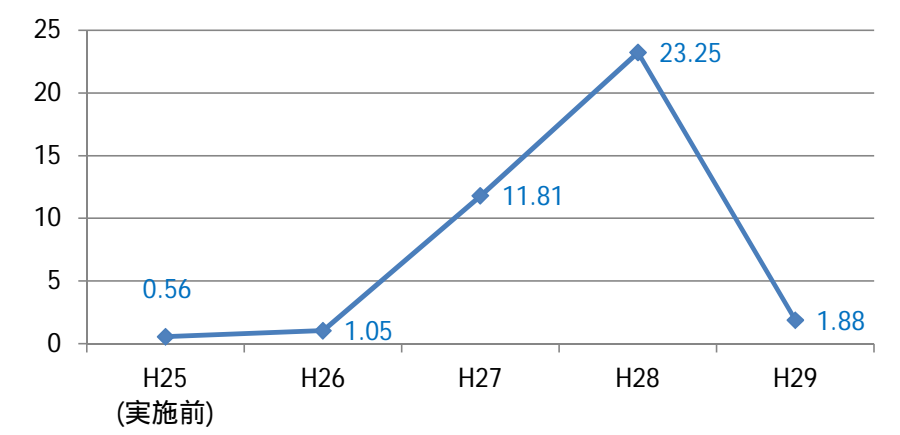
光環境調査 【開空度の推移(%)】



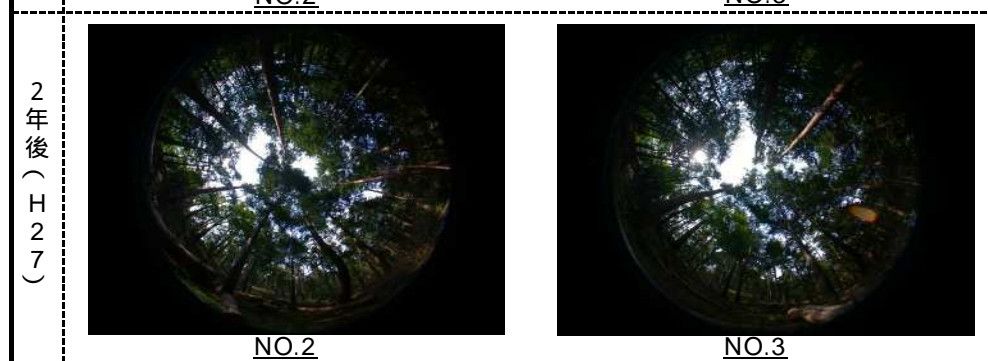
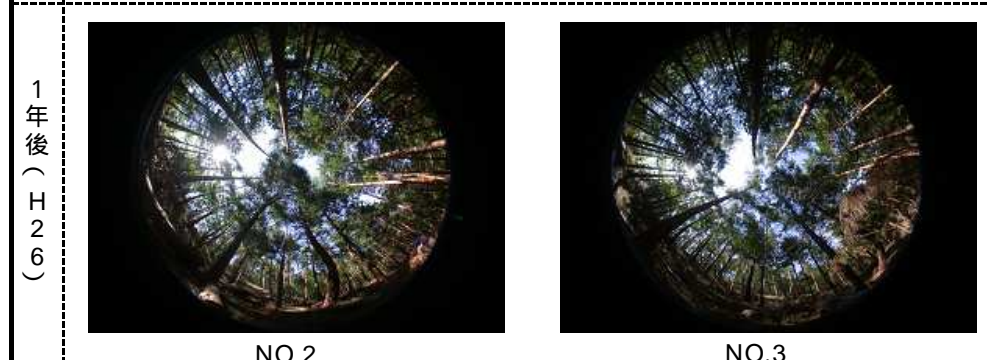
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土壌移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

| 毎木調査項目 | 施業前 | 施業後 | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 57 | 24 | |
| 平均胸高直径(cm) | 21.3 | 27.2 | |

・間伐の結果、林内がやや明るくなった。
 ・地表面の平均傾斜は25°と、比較的緩勾配。
 ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
 ・アカマツの落葉等に表土が覆われている。

【所見】

・植被率は増加傾向であるが、木本種数は減少していたため、今後の推移を注視する必要がある。
 ・土砂の移動量は減少した。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.2



NO.3

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.5

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.2



NO.3

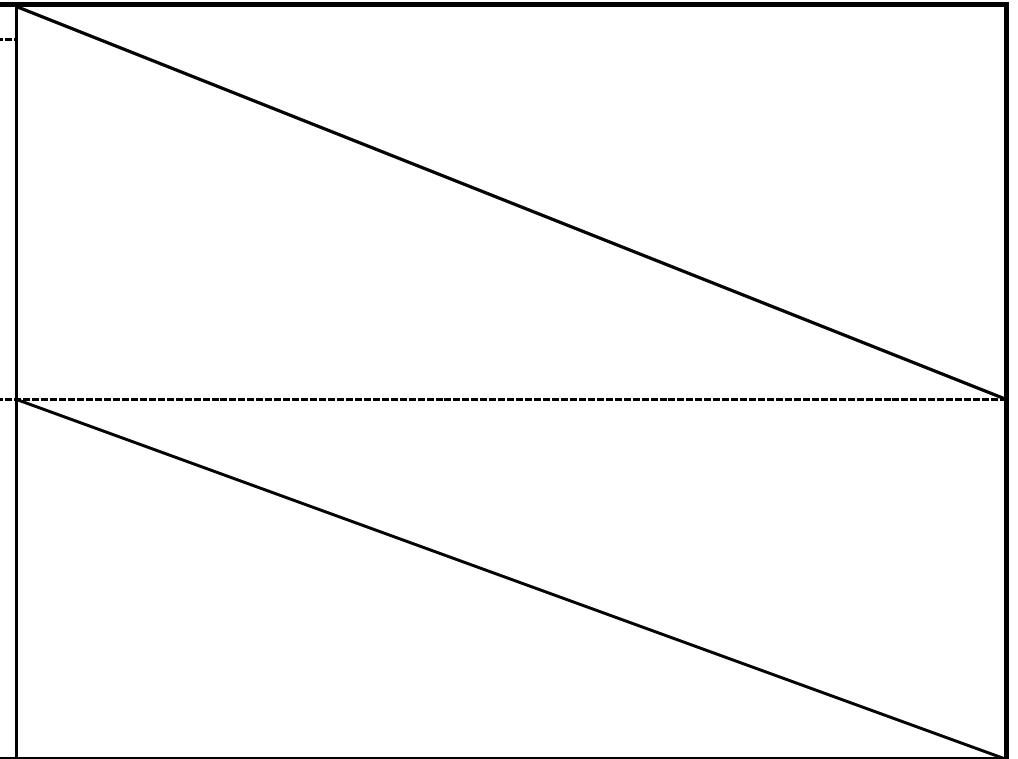
4
年
後
(
H
2
9
)

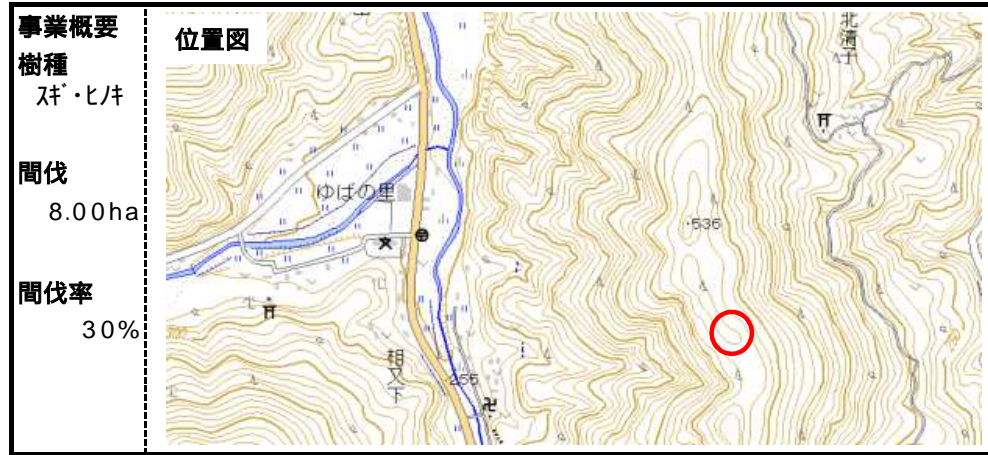


NO.1



NO.5





【施業前1】



【施業後1】

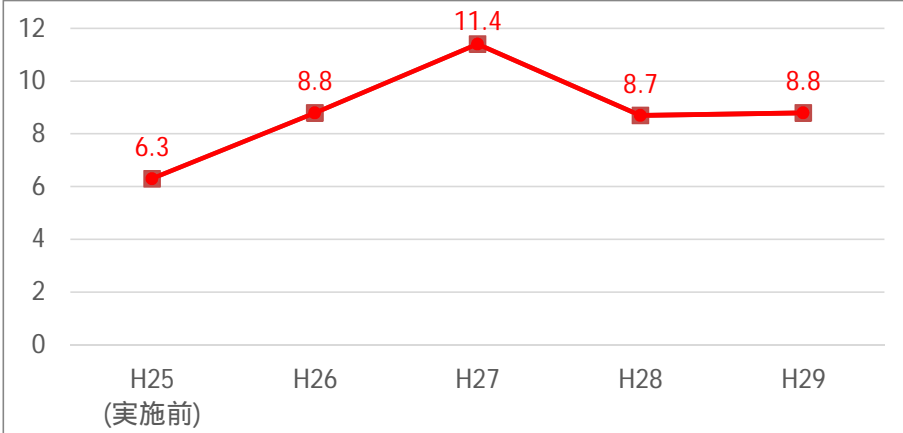


【施業前2】

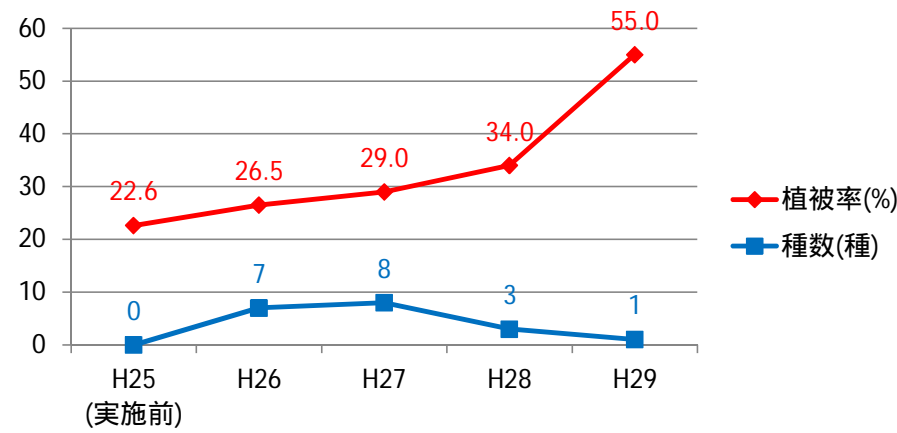


【施業後2】

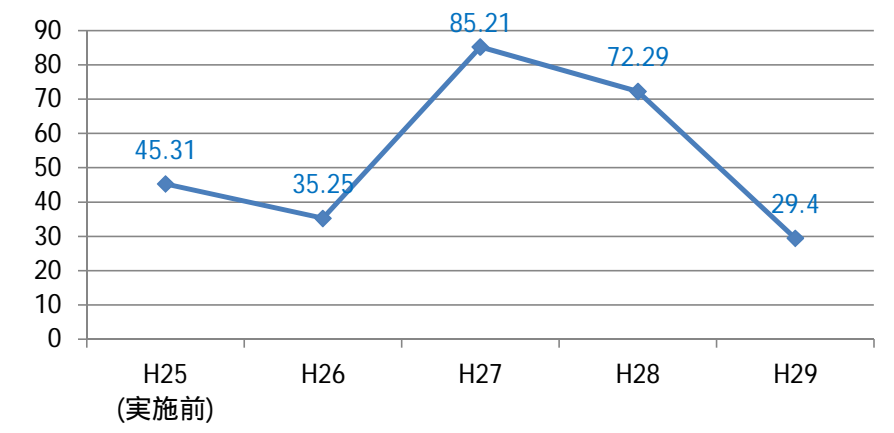
光環境調査 【開空度の推移(%)】



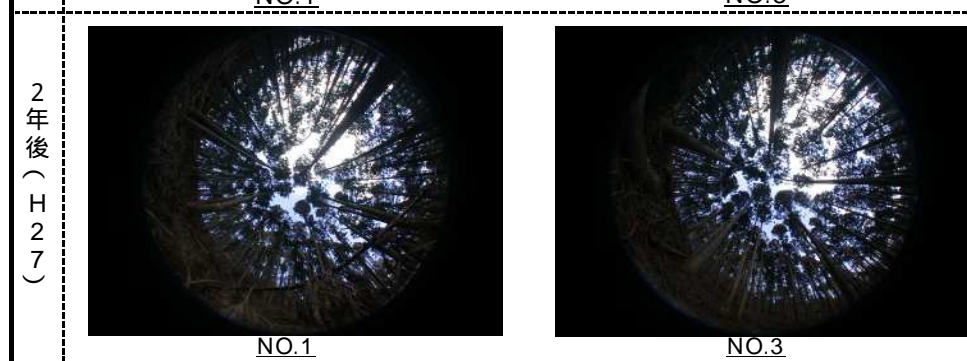
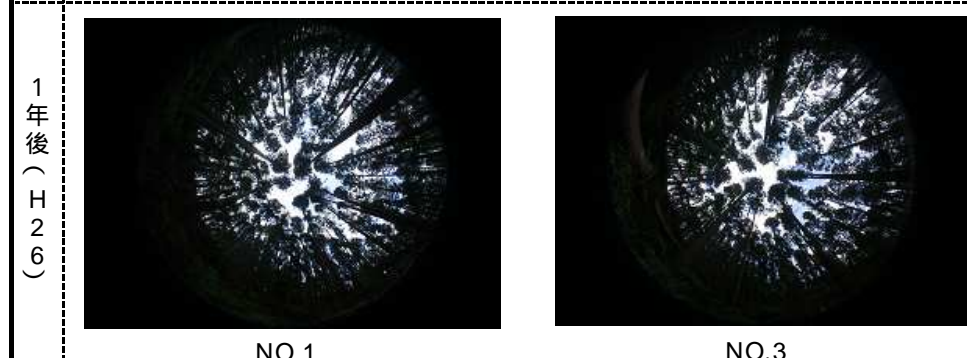
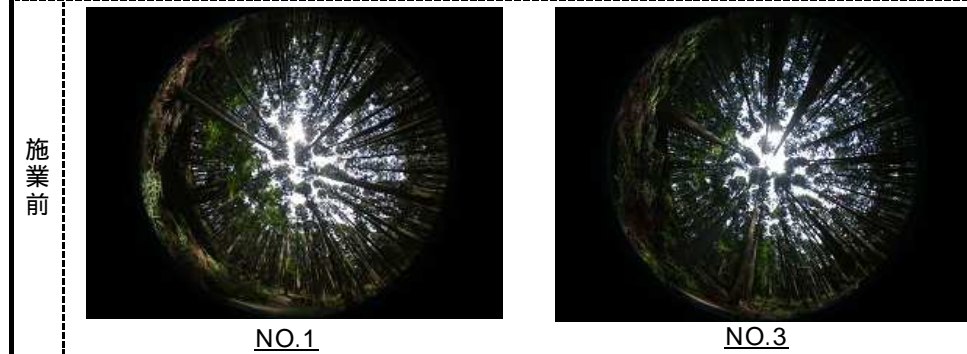
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土壌移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

| 毎木調査項目 | 施業前 | 施業後 | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 38 | 27 | |
| 平均胸高直径(cm) | 26.5 | 31.0 | |

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
・地表面の平均傾斜は31°と比較的急勾配であるが、スギの落葉やシダ類等に覆われており、安定している。

【所見】

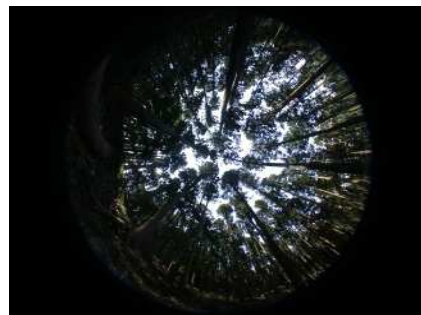
・植被率が継続して増加しているものの、木本種数は減少した。
・土壌移動量も減少傾向が見られ、植被の回復によるものと思われる。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.3

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)

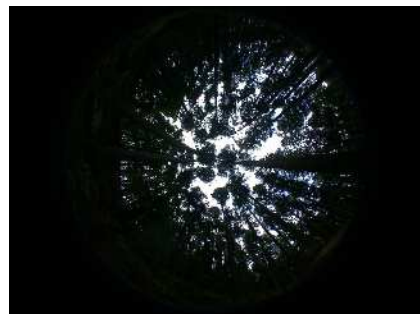


NO.5



NO.7

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.1



NO.3

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.5



NO.7

事業概要

樹種
スギ・ヒノキ

間伐
8.20ha

間伐率
30%

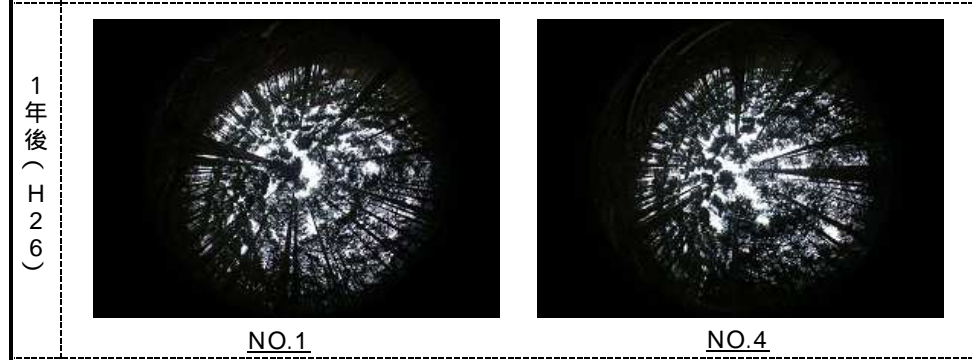
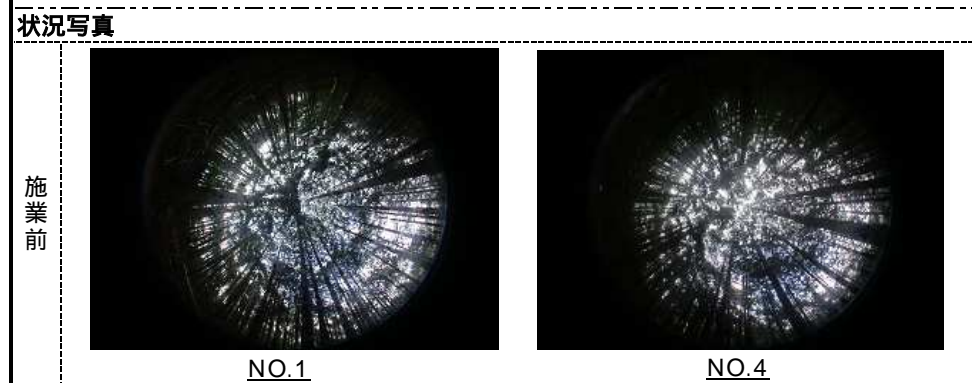
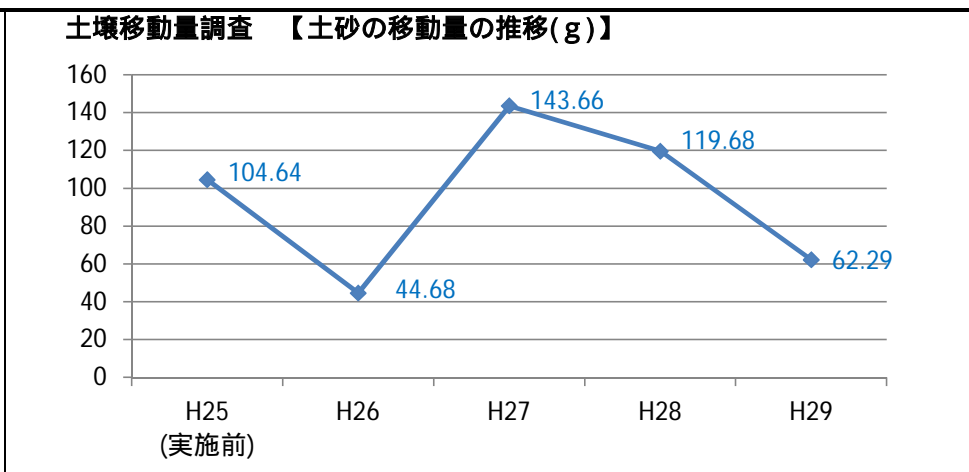
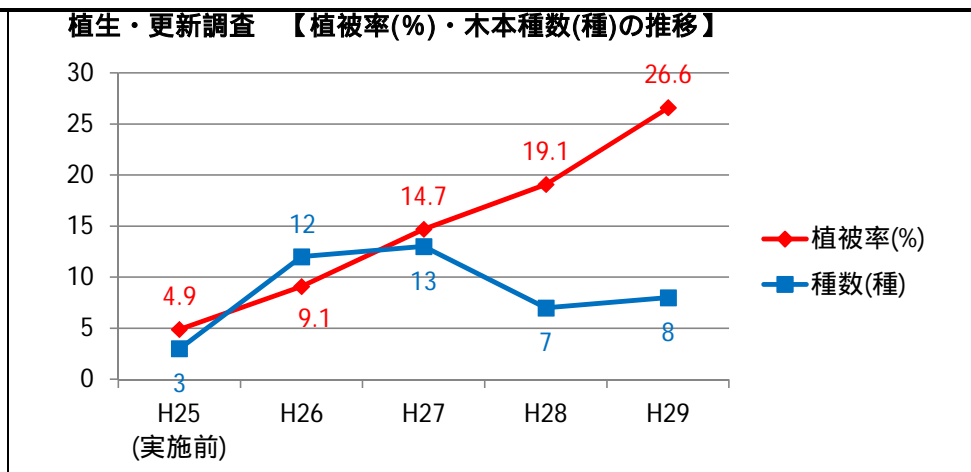
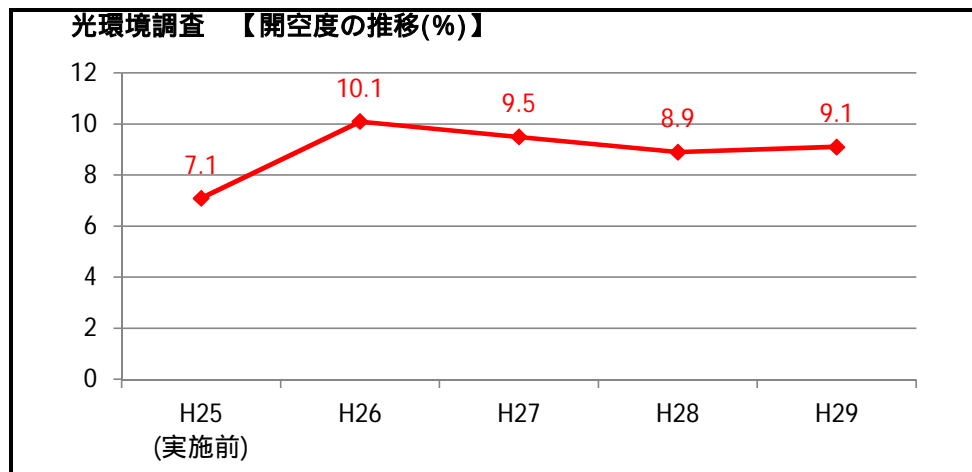
位置図

【施業前1】

【施業後1】

【施業前2】

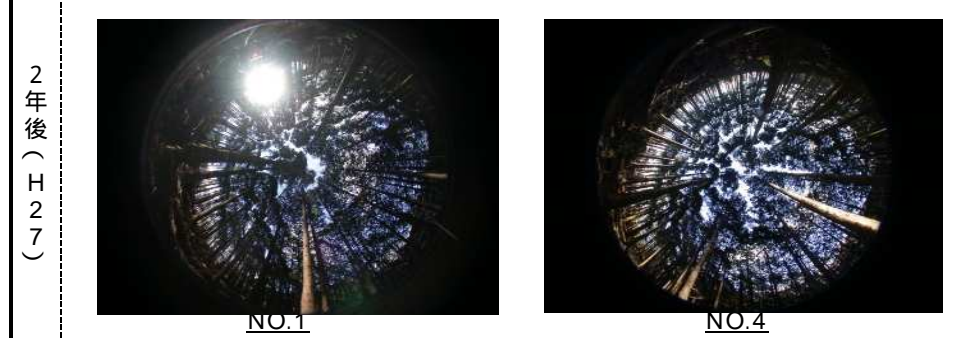
【施業後2】



【現況】

| 毎木調査項目 | 施業前 | 施業後 | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 58 | 29 | |
| 平均胸高直径(cm) | 25.0 | 32.3 | |

・間伐の結果、林内が明るくなった。
 ・地表面の傾斜は34°と比較的急勾配であるが、スギの落葉が堆積していることもあり、現時点では洗掘等の土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

・開空度は間伐後から若干低下したものの維持されており、植被率も改善し続けている。
 ・土砂移動量は減少し、地表面に浸食の痕跡等もみられていない。
 ・木本種数の回復は緩慢であるため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.4

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.7



NO.9

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.1



NO.4

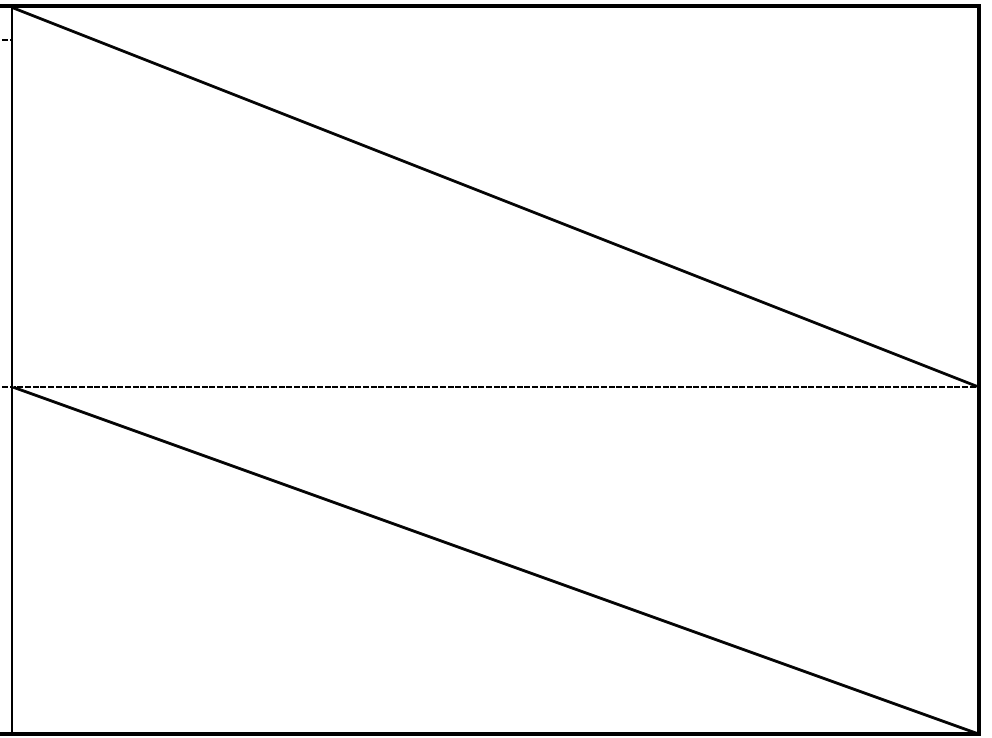
4
年
後
(
H
2
9
)

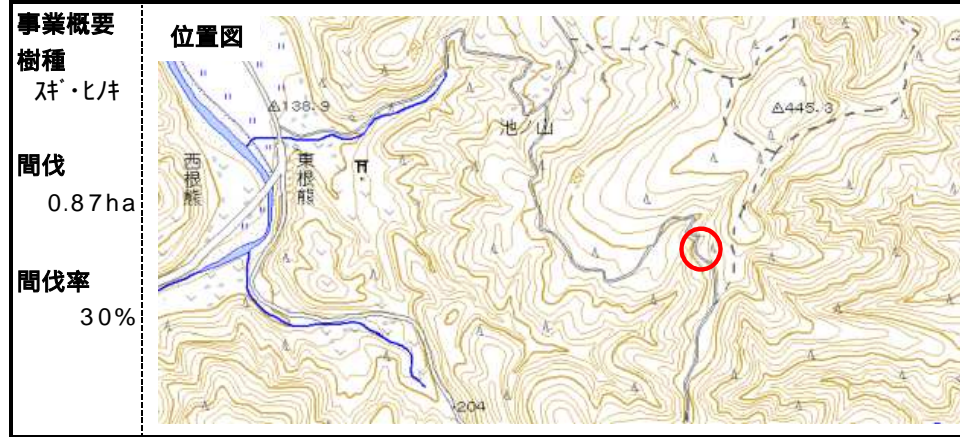


NO.7



NO.9





【施業前1】



【施業後1】

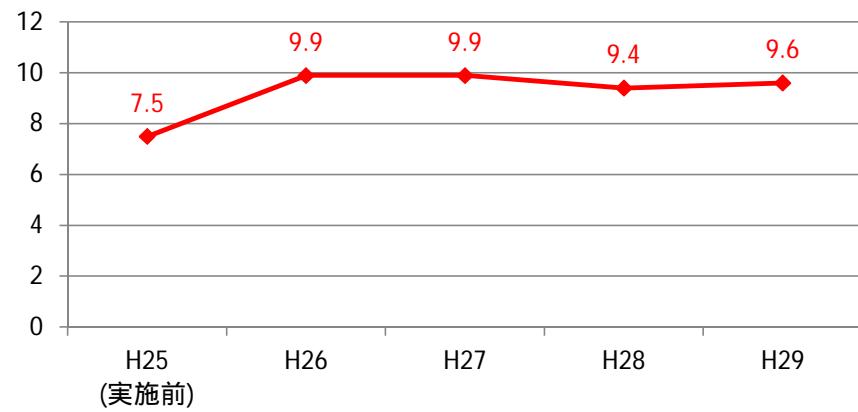


【施業前2】

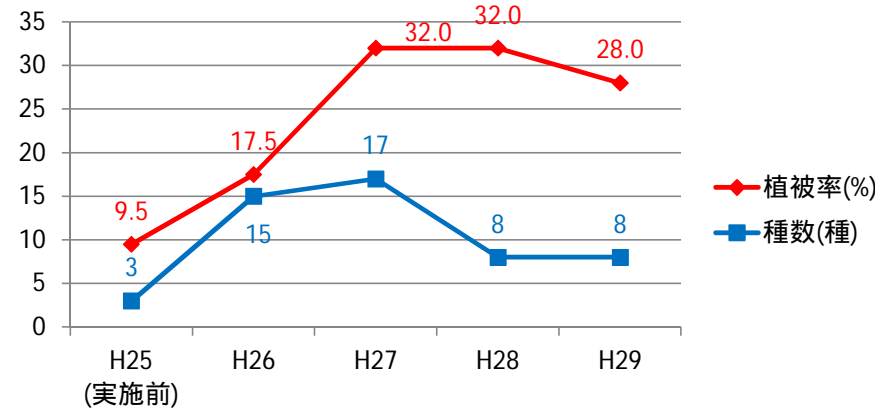


【施業後2】

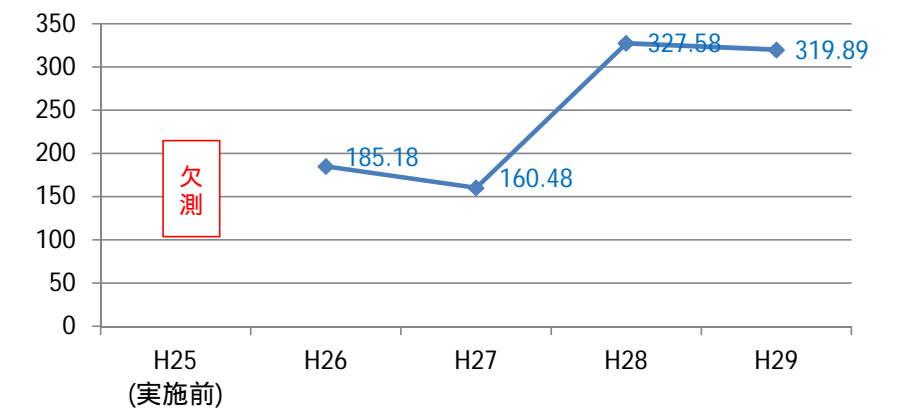
光環境調査 【開空度の推移(%)】



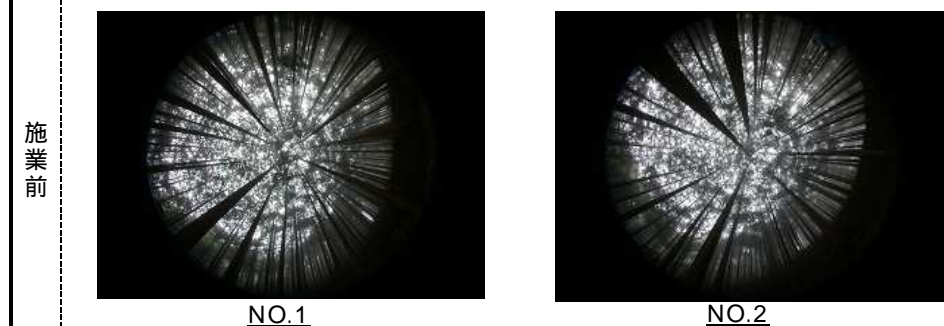
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土壌移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



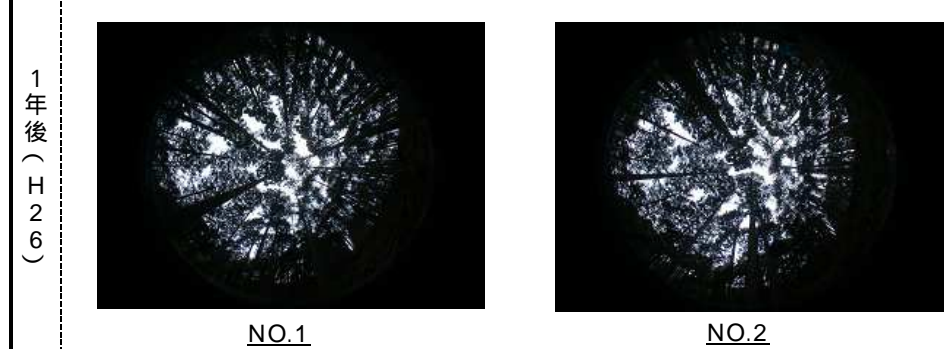
状況写真



状況写真



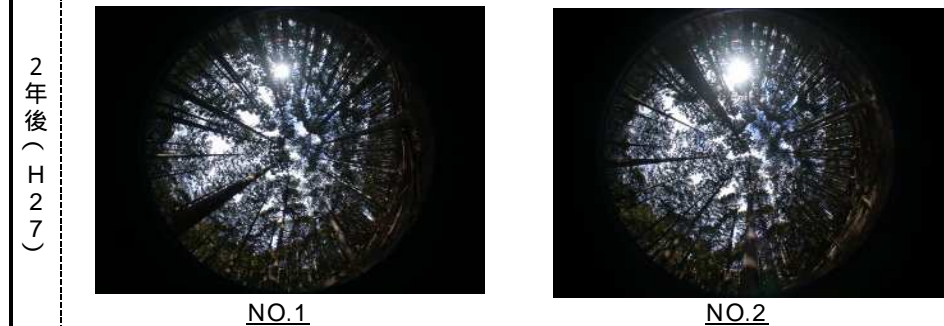
状況写真



【現況】

| 毎木調査項目 | 施業前 | 施業後 | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 65 | 37 | |
| 平均胸高直径(cm) | 22.6 | 25.6 | |

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
 ・地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
 ・部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。



【所見】

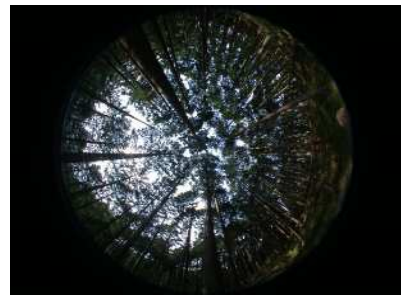
・植被率は低下したものの、木本種数は維持されていた。
 ・比較的まとまった量の土砂の移動が継続しており、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.2

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.4



NO.10

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.1



NO.2

4
年
後
(
H
2
9
)



NO.4



NO.10

